



会報



羽黒山の山伏

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA
鶴岡ロータリークラブ

第711回例会 1973.7.10 (火) 曇 No.2

例会日 火曜日 12時30分
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所
会長 安藤定助 幹事 小松広穂

a Time for Action

「今こそ行動の時」

会報はご家族みんなで読みましょう

○出席報告

本日の出席

会員数	66名
出席数	54名
出席率	81.82%

前回の出席

前回出席率	80.30%
修正出席数	57名
確定出席率	86.36%

欠席者

風間君、安藤君、早坂(徳)君、五十嵐(一)君、海東君、黒谷君、嶺岸君、三井(徹)君、小野寺君、斎藤(栄)君、斎藤(信)君、笹原君

メークアップ

阿部(公)君、菅君、富樫君—鶴岡西RC
佐藤(忠)君—酒田RC

○ビジター

原田行雄君、大川俊一君、佐藤拓君
鶴岡西RC

○点 鐘 鈴木善作副会長

○ロータリーソング「手に手つないで」

○会長報告 鈴木善作副会長

去る7月3日のクラブ協議会(クラブアッセンブリー)には各常任及び特定委員長のご努力により過去を見直し、之から行動し、潜在力を発揮し、質の向上を計る。

漸新にして、具体的な創意に富んだ、しかも各委員会の連繋のとれた活動計画が完成し、理事会の採択も得られました。

之で例年でない年度頭初より活動計画に基く、本格的な活動が開始されましたことはRI会長ウイリアム C カーター氏の目標(ターゲット)にも即し、ご同慶に堪えません。

又初例会は親睦委員会の早速の活動により和気藹々の中に胸襟を開いて歓談をつくり、又遙々ロングビーチよりパーマ夫妻を迎え、旧友を温め、本年度重点活動の親睦

の刷新増強と国際旧友の親交推進の実を挙げ、新年度をスタート出来たことは本当に感謝に堪えません。

今後一層の会員各位並に各委員会の活発なる行動をお願いいたします。

(会長の代読)

※会員の田中晶英君が、盲腸の為入院中でありましたけれども今回全快致しまして本日より出席なさいました。
誠にありがとうございます。

○幹事報告 小松広穂幹事

1. 年次大会の案内

(イ) 354地区年次大会

ホストクラブ 秋田ロータリークラブ
10月13日～10月14日
登録料 6,000円(会員家族共)
7月31日必着する様申し込まれたし。

(ロ) 367地区年次大会

ホストクラブ 高知南ロータリークラブ
10月20日～10月21日
登録料 会員 6,000円 家族 4,000円
8月31日必着する様申し込まれたし。

(ハ) 360地区年次大会

ホストクラブ
名古屋南ロータリークラブ
10月20日～10月21日
登録料 会員 5,000円 家族 4,000円
7月25日必着する様申し込まれたし。

2. (イ) 仮盛岡南ロータリークラブ設立

(イ) 例会日時

毎週木曜日 12.30～13.30

(ロ) 例会場 盛岡グランドホテル

3. 例会時刻変更

(イ) 鶴岡西ロータリークラブ

7月27日(金) 16時より ホテル山王閣

(ロ) 寒河江ロータリークラブ

7月19日(木) 17時20分より

伊勢屋会議室

4. 例会日時場所変更

(イ) 山形西ロータリークラブ

7月16日(月)を7月17日(火)

17時30分より

場所 嘯月

(ロ) 酒田東ロータリークラブ

7月12日(木)を7月14日(土)

18時より

場所 湯田川温泉 御殿旅館

5. 例会場変更

(イ) 大阪ロッキークラブ

8月27日より大阪市北区ロイヤルホテル
2階(山楽の間)に変更

(ロ) 会津若松南ロータリークラブ

会津中合7階スペシャルルームに変更
TEL (02422) ④5151

6. 会報到着

(イ) 天童ロータリークラブ

№.762～№.767

(ロ) 寒河江ロータリークラブ

№.690～№.699

(ハ) 東京ロータリークラブ

№.46～№.49

(ニ) 東京ロータリークラブより「ロータリー創立68周年記念家族会誌」

(ホ) 西宮ロータリークラブより「ロータリー手引」

7. 公式名簿募集の案内が入っています。

ご希望の方は事務局迄申し込んで下さい。
価格の方はまだ分っておりません。

8. 本目プログラム委員会の委員長が、欠席の様であります。先般のクラブ協議会におきまして各委員長より当分の間活動計画について御説明をお願いすることがプログラム活動の一環としたい旨申されております。

その順序は先日皆さんのお手許に渡されまたクラブ役員、委員名簿の順でお願いしたいと思います。今日は委員長さんが欠席ですので、親睦活動委員会の方から始めて頂きたいと思います。

○親睦活動委員会

中江 亮君

1. 早坂（源）君がガバナーとして研修の為アメリカに行かれました際R I 会長さんと一緒に撮られました写真が非常に良く出来ており、友の会の雑誌に見事のついでにその記事を書かれたのが佐藤伊和治君で、これ又すばらしい記事でありまして先程多額のスマイルを頂戴致しました。有難うございました。ガバナーもスマイルをお願い致します。
2. 荘内銀行が1千億円の貯金を達成されたという非常におめでたい話がありますが肝心の金井会長さんがさっさと退場なさいましたのでこの次の例会の時にお願い致します。
3. 2ヶ月に1回実施しております、ゴルフ大会を次の様に開催致しますので希望者は事務局に申し込んで下さい。
とき 7月18日（水）12時30分より
ところ 湯の浜カントリークラブ

○親睦活動委員会

吉野 勲君

月山登山のおすすめ

当委員会は7月下旬より8月上旬の間、月山登山の計画をたてました。八合目まではバスで行きます。尚詳細については事務局より葉書でご案内が届く筈でありますのでご家族共々大勢ご参加下さいます様お願い申し上げます。

○会 計

森田清治君

会費納入のお願い

昨年決定致しました48年度の会費でございますがもう行事もスタートしておりますので半期分4万円、成るべく早目に納入して下さい。

○インターアクト委員会

三井 健君

先日の日曜日にクラブ会員が廃品回収を

実施しました処、会員皆様方の大変な御厚意に依りまして約2万円近くの活動資金を得ることが出来ました。どうも有難うございました。

○ローターアクト委員会

阿部 襄君

7月7日8日に仙台の方の遠刈田温泉、蔵王ハイッ研修所で第1回の国際ローター東北地区、ローターアクトクラブ東北連合大会が開かれました。スポンサークラブが第352地区の柴田ロータークラブ・ホストが仙台大学ローターアクトクラブでございました。

それで参加しましたのは11のローターアクトでありました。それは青森、秋田、五城目、秋田港、山形、鶴岡、仙台、平、福島、釜石、仙台大学で合せて72名程参加致しました。それに各地区のガバナー、352地区のバスターガバナーの方々がおいでになりまして非常に色んな事を御注意戴いたりしまして部会の討論会も非常に熱心に行なわれました。リクレーション等もありましたし、大成功ではなかったかと思えます。

そして何よりもよかったのは青年諸君が自分達も同じ様に悩んでおり、努力している人達が東北地区にこんな沢山居るということに認識した事、それが一番よかったんではないかと思いました。尚来年は案として秋田の五城目で第2回の大会を開きたいという希望が延べられました。

○ローター情報委員会

張 紹淵君

1. 記録に関する問題

- (6) 世界中のインターアクトクラブの概数は
は
(円) 3,000

2. その他の事項に関する問題

- (69) インターアクトクラブへ入会できる者は
は
(円) 提唱ロータークラブの自由裁量で
少年、少女

○会報委員会

佐藤 順治君

本年度の計画

委員会本来の目的達成の為、頑張るつもりですが、本年度は特に親しまれる会報の編集に努力したい。

その具体案を次に列挙します。

1. 会員家族のスナップ写真を取り入れる。
2. 会員よりの興味ある投稿文を時々掲載する。
3. 各委員会と密接な連携をとり、成るべく多くの情報を掲載する。
4. 他クラブの会報、ロータリーの友の中から教育、親睦に寄与するもの、其の他必要と思われる事項は随時に抜萃掲載する。
5. 次回例会日迄発行出来る様努力する。

以上理事会で承認されました会報委員会の計画であります。若干補足させて頂きます。

第1番目の項を実施することに依って、写真を通じて家族ぐるみの交際をし、親交を深めることが出来るわけであります。然し、写真は億却だから誰れかに撮って貰いたいと思って居る方も沢山おいでのごとく思います。そういう方にはこちらから技術屋を派遣しますので成るべく日曜日、平日ならば夜何時頃と御指定頂きたいと思えます。

フィルムの大きさは6 cm×9 cmで

カラーの場合は 1枚当り 500円

白黒の場合は 1枚当り 300円

を頂戴致します。

尚、写真をお借りする時は御家族の簡単な紹介文を添えて下さい。

特に適齢期の青年、又はお嬢さん、おいでの方は成るべく早く御貸し願います。これによって会員同志の御家族が良縁で結ばれることが可能なことで、誠におめでたい結果になるわけであります。要するにこの様な計画の成功するか否かは皆様方の御協力の如何に懸って居るわけでありまして

何卒よろしくお願いを申し上げます。

○会員のスピーチ

最近の石油事情について 中野清吾君

最近の石油情勢は余りにも大きな問題がありまして、又吾々の生活に最も密着しておる問題であります。

皆さんの御参考になる様なことを申し上げることが出来ますかどうか、私なりに知って居る範囲のことを申し上げます。

現代は石油時代と云われ、私達の生活は石油なしでは成立ちません。自動車、船、飛行機等の燃料、時計、ミシン、機械等の潤滑油、又火力発電の燃料、都市ガス、プロパンガス等の原料は皆石油であります。更に衣料品、家庭用品、建築資材、化粧品、道路舗装用等も石油で造られている部門が非常に多いのであります。又身近には世の男性、女性が肌身離さず大事に身につけているパンテーターまでがガソリンと兄弟でありまして私達の生活に欠く事の出来ない地位を占めているわけであります。

ところでこれからの石油事情はどうなりますかということ簡単に結論から申し上げますと今年の冬は(来年の冬も)相当不足となります。特に原油からガソリンを精製する課程に於て灯油、軽油、重油が出ますが、之を中間溜分と云いまして之が非常に不足すると思えます。値段もまだまだ上ると思えます。これは私の見解ではなく、政府並びに元売(石油メーカー)の一致した見解であります。

此の様な物価高の折に皆さんから「石油よ、お前もか」とお叱りを受けるかも知りませんが、その理由を分って頂ける様これからお話し申し上げたいと思えます。

石油のとれる国で日本を1(100万キロ)としますと、

サウジアラビヤ	259倍
イラン	262倍
ソ連	432倍

アメリカ 619倍

という状態でありまして、アメリカの619倍というのは全世界の20%生産しているのであります。

次に石油を使う国を申し上げますと

1位	アメリカ	82,900万キロ
2位	ソ連	42,200 ㌦
3位	日本	26,000 ㌦
4位	西ドイツ	15,400 ㌦

日本の消費量はこの10年間で10倍になっており大量消費国になっています。

1年間の1人当り石油消費量はドラム缶10本で1日大体1升ビン3本(5.5ℓ)位になります。消費の大きな需用家は電力であり、自動車であり、石油化学となっています。

次に輸入国の大きなところを申し上げますと全世界を100%とした場合、西欧49%日本17%、アメリカ15%、その他19%となっております。

次に日本のストックを見ましょう。現在は45日分のストックを持っていますが今年の2、3月頃は35日分しか持っておらず非常に逼迫した状態でした。これもタンカーで運搬している分を含めての在庫ですから誠に心細い状態でした。今後日本は60日分位の在庫を持ちたいと政府は考えている様です。西ドイツは現在60日～75日分位の在庫を持ちたいと対策を樹てゝいる様です。アメリカは90日～120日位の在庫を持ちたいと考えています。日本の場合は45日分ですから海員ストとか、港湾スト等時々ありますと、直ぐ在庫に影響し、非常に石油の危機感を感じる状態です。

中曽根大臣が在庫をするのにゴルフ場の下を貯蔵庫にしたらどうかとの発言に依り随分論議を醸して、ゴルフ場の株価が上がったという話もあります。庄内のゴルフ場にも善宝寺の方から、又七窪の方から穴をあけて貯蔵すれば相当のストックが出来ると思います。

この様なストックを持つのに従来は7万

トン～15万トンのタンカーで運んでおりましたが、それでは輸送の合理化とか、消費の増大に伴った自給が出来ないので最近では37万トン～49万トンのタンカーで運んでいます。

今後日本で計画しているのは75万トンのタンカーで運ばなければ、今日の日本の消費量を賄うことが出来ないということですから。75万トンのタンカーですと従来通つたマラッカ海峡は通れなくなるので、ロンボック海峡を通ることになります。そうすると大体片道16日、積荷2日、荷上げ2日かゝり、往復で40日かゝるわけです。距離にして12,000キロ位です。

現在、大消費国日本向けのタンカーが非常に多くなりまして、これは人の話ですが椰子の木陰で土人がテクテク踊りながら「あのタンカーもヤボン行きか」と言っておりインド洋も非常に輻湊しているそうです。

従来世界の石油を支配していたのは、23年前迄はメジャー(国際資本)でありましたが現在はオペック(産油国機構)によって代ったのであります。革新系の方がよく使う「搾取」という言葉がありますが、オペックはメジャーに搾取されておるといふ考えになり、吾々はこゝで一致団結して産油国としてメジャーに対抗して行かなければならない。自分達の掘ったものは自分達の手で売り捌く権利を持たなければならぬということになり、最近立場が変わり生産制限とか、出荷制限をし、しかも価格は当然上げるという状態にたつて来ました。

これに対しアメリカはいち早くニクソンのエネルギー教書を出してその対策を樹てた様ですが、日本はこの教書を非常に恐れ政府と元売会社は一体どんなことになるのかと真剣に考えた様です。

アメリカが中東の原油を殆ど買占め、日本には出さないのではないかと心配したのですが、実はそうではなくアメリカ国内対

策として所謂石油資源は大切だから消費には慎重にやろう、と国民の協力を求めた点が大きかったと思います。

去年の灯油がなぜ、あんな風に逼迫した状態になったかと云うと政府と元売会社が350万キロ位のストックを持たば、今年の冬は暮らせるだろうという見解の為で、従来の500万キロのストックから見れば150万キロのセーブをしたので、不足になったわけです。

最近灯油とか、中間溜分の油がゆるやかになって来ておりますが、それは各メーカーの貯蔵設備の持たない、又それに耐えるだけの資金を持たない元売会社が、出している様です。

日本石油の場合は備蓄設備、資金があるので今着々備蓄しています。

私のところは割当になっています。今年の冬の様な窮屈な割当ではありませんが、10日毎の出荷割当になっております。

日本石油は今は特約店が少し窮屈な思いをさせるけれども冬には去年の様な窮屈を与えないから協力して欲しいという状態です。

この様に吾々の生活に密着した生活必需品が海外依存である為に、今後このエネルギーはアメリカ以上経済的に大切に使用しなければならないと思います。

◎次の委員会報告の件、実は先週会報 No. 1 に掲載する筈でありましたが、小生手違いの為今回掲載させて頂きました。

張紹淵君、石黒慶之助君、並びに会員の皆様に対してお詫び致します。

(会報委員長 佐藤 順治)

○ロータリー情報委員会 張 紹淵君

今までのプログラムに従ってやったことについて、とかくの弊害もあるやに聞いておりますが、それだからと云って其のまま放っておくわけにもゆきませんし、ごく簡

単に、そして皆さんが平等に分る様に今度ロータリー情報示設板を拵えましたからこの1時間の間に眺めて見れば覚えられ、少し説明すれば頭に入るんじゃないかと云うアイデアで、委員会が之を作りました。

今日は手続きの問題ですが、

所属クラブの例会に連続3回をこえて欠席しなければならず、しかもその期間他のロータリークラブの例会に出席する機会を持ち得ないことが予めわかっている場合には、

「クラブ理事会に対し、出席免除を要請することが出来る」ことを忘れないで下さい。

○地区年次大会の進行状況 石黒慶之助君

1. 大会のシンボルマークが決定致しました。

鶴岡ロータリーマークはパーナーよりデザインしました。

鶴は「今こそ行動の時」を象徴し、エメラルドグリーンは「うるわしい豊かな自然と平和で健康な世界」を表現する。

2. シンボジュームのテーマ

「今こそ行動の時」

副題——心豊かな住みよい世の中を作るには。